

身を起して十字架のしるしをしながら言ふ。

天の祝福と恵みに満たされますように。

手を合わせよ。

(主・キリストによって。アーメン。)

124 死者のための祈り  
両手を広げて唱えよ。

聖なる父よ、信仰をもつてわたしたちに先立ち、安らかに眠る人々……を心に留めてください。

この人々、またキリストのうちにいこうすべての人に喜びと光と平安を与えてください。

手を合わせよ。

(主・キリストによって。アーメン。)

125 両手を広げて続ける。( )の部分は皆へうががら。

また、あなたの深いあわれみに頼るわたしは罪びとを、使徒と殉教者の集いに受け入れてください。

洗礼者ヨハネ、ステファノ、マチア、バルナバ、イグナチオ、アレキサンドロ、マルチェリノ、パトリック、エリチタス、ヘルベトウア、マガタ、ルチア、アグネス、セシリア、アナスタシア)そして、すべての聖人の跡に続く恵みを、わたしたちのいざおしに与えてくださる。あなたのおわれみによって与えてくださる。

126 手を合わせよ。

キリストによって。

あなたは常にすべてのよいものを造り、とらふものにして、これに生命を与え、祝福してわたしたちにお恵みになります。

127 パテナとカリスをいじりながら唱えよ。

キリストによってキリストとともにキリストのうちに、聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに、すべての誉れと栄光は、世々に至るまで。

会衆は皆えよ。

アーメン。

### 第一奉献文(ローマ典文)

105 司祭は両手を広げて唱えよ。

いつくしみ深い父よ、御子わたしたちの主イエス・キリストによって、いまついでにお願いをいたします。

手を合わせよ。パンと杯の十字架のしるしをしながら唱えよ。

このように供えものを受け入れ、祝福ししてください。

両手を広げて続ける。

わたしたちは、まず聖なる全教会のため、これをあなたにささげます。全世界で教会に平和を与え、これを守り、一つに集め、治めてください。

また、わたしたちの教父○○○○世、わたしたちの司教○○○○(姓名)、使徒からの同じ信仰を正しく伝えるすべての人のためにささげます。

106 人々のための祈り

聖なる父よ、あなたに信頼する人々……を心に留めてください。

「主」手を合わせしほらく祈り、また両手を広げて続ける。

また、「ご」に集まっているすべての者を心に留めてください。その信仰と真心をあなたは存じます。

わたしたちとすべての親しい人々のためにこの賛美のいけにえを奉獻し、あがないと救いと無事を願って、永遠のまことの神あなたにこの祈りをささげます。

107 次の祈りに加える固有名詞は「Benedictus」の部分は皆へうががら。

全教会の交わりの中で、わたしたちはまず、主イエス・キリストの母、光栄ある終生おとめマリヤを思い起こし、また、その浄配ヨゼフ、使徒と殉教者、

パトリック、アンブレ、ヤコブ、ヨハネ、トマ、ヤコブ、フィリポ、バルトロマイ、マタイ、シモンとタダイ、リノ、クレト、クレメン、シスト、コルネリオ、チフリアノ、ラウレンチオ、クリソゴノ、ヨハネとパウロ、コスマとダミアノ)そして、すべての聖人を思い起こします。

そのいざおしと祈りを願ひ、わたしたちをいつも守り強めてください。

(ぎょう)この世からあなたのもとにお召しになった○○○○(姓名)を心に留めてください。

洗礼によつてキリストの死に結ばれた者が、その復活にも結ばれることがございますように。

また、復活の希望をもつて眠りについたわたしたちの兄弟とすべての死者を心に留め、あなたの光の中に受け入れてください。

なお、わたしたちをあわれみ、神の母おとめマリヤと使徒をはじめ、すべての時代の聖人とともに永遠のいのちにあずからせてください。

手を合わせよ。

御子イエス・キリストを通してあなたをほめたたえることが出来ますように。

135 パテナとカリスをいじりながら唱えよ。

キリストによつてキリストとともにキリストのうちに、聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに、すべての誉れと栄光は、世々に至るまで。

会衆は皆えよ。

アーメン。

### 第二奉献文

129 司祭は両手を広げて唱えよ。

まことにとうとくすべての聖性の源である父よ、

いま聖霊によつてこの供えものをとらふものをいじりながら唱えよ。

わたしたちのために主イエス・キリストの御からだと御血になりますように。

手を合わせよ。パンと杯の十字架のしるしをしながら唱えよ。

131 次の式文中の主の「ご」は、特にはっきり唱えよ。歌う場合は「あ」を省く。

主イエスはすすんで受難に向かう前に、

パンを取り、

感謝をささげ、割って弟子に与えて仰せになりました。

少し頭を下げて唱えよ。

あなたの民となつたすべての人の信仰と愛を強めてください。あなたがごにお集めになったこの家族の願いを聞き入れてください。

いつくしみ深い父よ、あなたの子がごにいても、すべてあなたのもとに呼び寄せてください。

特定の死者のために「あ」がさげられる場合は「ご」を用いる。

亡くなったわたしたちの兄弟、また、み旨に従って生活し、いまはごの世を去つたすべての人をあなたの国に受け入れてください。

わたしたちもいつかその国で、いつまでもともにあなたの栄光にあずかり、喜びに満たされますように。

手を合わせよ。

主・キリストを通して、あなたすべてのよいものを世にお与えになります。

142 特定の死者のために「あ」がさげられる場合

143 パテナとカリスをいじりながら唱えよ。

キリストによつてキリストとともにキリストのうちに、聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに、すべての誉れと栄光は、世々に至るまで。

会衆は皆えよ。

アーメン。

### 第三奉献文

136 感謝の賛歌の後、司祭は両手を広げて唱えよ。

まことに聖なる父よ、造られたものはすべて、あなたをほめたたえています。御子わたしたちの主イエス・キリストを通して、聖霊の力強し働きのにより、すべてにいのちを与え、とうとくいものにし、絶えず人々をあなたの民としてお集めになるからです。

日の出る所から日の沈む所まで、あなたに清いささげものが供えられるために。

137 手を合わせよ。そのほもの十字架のしるしをしながら唱えよ。

あなたにささげるこの供えものを、聖霊によつてとうとくものにしてください。

手を合わせよ。パンと杯の十字架のしるしをしながら唱えよ。

御子わたしたちの主イエス・キリストの御からだと御血になりますように。

手を合わせよ。

主のごことは従つていまま、わたしたちはこの神祕を祝います。

138 次の式文中の主の「ご」は、特にはっきり唱えよ。歌う場合は「あ」を省く。

主イエスは渡される夜、

パンを取り、

あなたに感謝をささげて祝福し、

御からだと御血をあなたにささげます。

あなたが教会にお与えになったこのいけにえを願ひ、この一つのパンと杯を分かち合うすべての人を、聖霊によつて一つのからたに集めてください。

キリストのうちにあつて、あなたの栄光をたたえるためまことのささげものになりますように。

父よ、すべての人を心に留めてください。その人々のためにわたしたちはこの供えものをささげます。

わたしたちの教父○○○○世をはじめ、わたしたちの司教○○○○(姓名)(補佐司教の姓名を加えることが出来る) 全司教団、すべての教役者、奉納者、参列者、あなたすべての民と、あなたを求めすべての人、また、キリストの平和のうちににぐなつた人々、あなただけがその信仰を知つておられるすべての死者を心に留めてください。

手を合わせよ。

主・キリストを通して、あなたすべてのよいものを世にお与えになります。

151 パテナとカリスをいじりながら唱えよ。

キリストによつてキリストとともにキリストのうちに、聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに、すべての誉れと栄光は、世々に至るまで。

会衆は皆えよ。

アーメン。

### 第四奉献文

144 次の讃歌は第四奉献文の固有なもので、他の讃歌を使つてはなりません。

主は皆さんとともに。また司祭とともに。心をこめて神を仰ぎ、賛美と感謝をささげましょう。

聖なる父、全能永遠の神、あなたの偉大な業をたたえ、いつも感謝をささげます。あなたは唯一のまことの神、初めもなく終わりもなくすべてを越えて光り輝くかた。あふれる愛、いのちの泉、万物の造り主。造られたものは祝福され、光を受けて喜びに満たされます。

数知れない天使は昼も夜もあなたに仕え、栄光を仰ぎ見て絶え間なくほめたたえます。わたしたちはこれに声を合わせ、すべての造られたものとともに、あなたをたたえて歌います。

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の神なる主。

主の栄光は天地に満ち。

天のいと高きところにホザンナ。ほむべきかな、主の名によりて来る者。天のいと高きところにホザンナ。

145 司祭は両手を広げて唱えよ。

聖なる父よ、わたしたちはあなたをたたえます。

あなたは偉大な英知と愛によつてすべての業を行われしました。ご自分にかたどつて人を造り、造り主であるあなたに仕え、造られたものをすべて支配するよう、全世界を人の手におゆたねになりました。

人があなたにそむいて親しい交わりを失つてからも、死の国に見捨てられることなく、すべての人があなたを求めて見いだすことが出来るように、いつくしみの手をささしおべられました。またたびたび人と契約を結び、預言者を通して、救いを待ち望むように勵ましてくださいました。

時が満ちて、あなたはひとり子をわたしたちに教い、主としてお遣わしになりました。聖なる父よ、あなたはこれほど世を愛してくださいました。